

## 第7回町田市長期計画審議会 委員からの意見と対応の方向

## 1 (仮称) まちづくり基本目標について

## ■政策1

番号	委員	意見	対応の方向
1	三輪	施策名 1-2 の施策名から「サービス」を削除した方が概念的には広がりがあるのではないかと。 「保育サービス」とすると、養護や教育のニュアンスが漏れてしまうような感じを受ける。	一時保育やショートステイ、ファミリーサポートセンター等には教育的なニュアンスを含んでいないことから、それらも包含するため、「保育サービス」という表現にしています。 また、子どもマスタープランでも「保育サービス」という言葉を使用しているため、整合性をとる必要もあることから、「保育サービス」のままとさせていただきたいと考えております。
2	三輪	取り組み 1 の概要について、保育が保育園に特化しているように受け取れるので、「多様な預かりの充実」という表現があるといい。	委員のおっしゃるとおり、保育は保育園や幼稚園に特化しているものではなく、ファミリーサポートセンター等の施設以外での事業も含まれます。ここでは子どもマスタープランとの表現を合わせるため、「保育サービス」とさせていただきました。
3	芳賀	施策 1-1 の取り組み 2 の概要文中の 2 行目に「小学生を対象とした」とあるが、限定しなくてもいいのではないかと。ライフステージで見ると幼児期も入るので。	現に小学校へ訪問し、啓発活動を実施しているため記載しています。意見にあるとおり、幼児期も対象であるため、「小学生を対象とした」の部分は削除します。
4	深澤	事業所の育児休業の取得など、育休の取得推進、復職の整備体制をここに入れるのもいいのでは。	事業者も一丸となって取り組んでいるという意味合いを込め、政策実現によってなりたいた姿を「子育て世帯をはじめ、周囲や地域の人たち、事業者など、みんなで楽しく子育てができます」に修正します。

■政策2

番号	委員	意見	対応の方向
5	深澤	施策2-2の取り組み3の文中にある「モノづくり」とあるが、これに限定しない方がいい。	「モノづくり」を「多様な職業」に修正します。
6	三輪	政策の指標が「教育環境が整っていると思う市民の割合」だけでいいのか。ユニセフが「自己有用感を持つ子ども」などの指標を提唱している。子供の意思を反映したような指標をうまくあてはめられないか。	施策2-2の指標「将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合」を政策の指標に格上げします。 代わりに施策の指標に「自分の考えや意見を発表することが得意な児童・生徒の割合」を追加します。
7	小林	施策2-2の取り組み1に「コミュニケーション能力の育成」とあるが、未来を生き抜くためには、問題解決能力の育成も必要と感じる。	教育プランでは「主体的・対話的で深い学び」が課題解決への取組につながる学びである旨の表現をしています。ここではそれに合わせた表現・表記でお示ししています。
8	芳賀	施策2-2の取り組み1や取り組み2で「全国学力学習状況調査」や「全国体力運動能力、運動習慣等調査」の結果を分析しているが、この調査だけを基にするのではないのではないか。	「調査等」に修正します。
9	桜本	施策2-3の取り組み2で「ライフワークバランス」という言葉を使っているが、「ワークライフバランス」と、どちらかに統一した方がいい。	「ワークライフバランス」に統一します。
10	大野	施策2-3の施策実現によってなりたい姿の文章「質の高い教育環境を受け」は表現としておかしい。「質の高い教育環境の下で」とした方がいい。	「質の高い教育環境の下で」に修正します。
11	大野	基本計画中には出てこないとのことだが、施策2-3の取り組み3の指標にもICTの活用を入れてほしい。ICTを活用した遠隔教育は不登校支援の手法として効果的だと考えるため。	取り組みレベルの指標については、今後教育委員会と調整していきます。

■政策 3

番号	委員	意見	対応の方向
1 2	深澤	政策 3 の指標「付加価値額の増加」の意味は。	経済センサスで使われている指標で企業等の生産活動によって新たに生み出された価値のことです。
1 3	深澤	施策 3-2 の取り組み 3 の文章「町田市の農業が市民生活に不可欠なものとなっている」では伝わらない。具体的に「地産地消」などの文言を入れてはどうか。	<p><del>「町田市の農業が市民生活に不可欠なものとなっているまちを実現します」を「農に関わる市民を増やすとともに地産地消が市民生活に根付いているまちを実現します」に修正します。</del></p> <p>農業の取り組みは、地産地消の推進に留まらず、良好な景観の形成、生物多様性の保全等の多様な機能を有している農地の保全、農業研修事業等の新たな担い手の確保など、多面的であることから、施策に基づく事業展開の幅を持たせるために原案の表現としたいと考えます。</p>
1 4	三輪	施策 3-2 の取り組み 3 の文章「町田市の農業が市民生活に不可欠なものとなっている」には、「農に関わる人を増やす」という意味合いもあるのではないか。	<p><del>同上</del></p> <p>上述 1 3 のとおり、農業施策は多面的であり、「農に関わる人を増やす」というのは数ある目的の中の一つに過ぎず、また、農への関わり方は対象者（農業者、消費者、その他市民等）により様々であることから、その文言を抽出して加えずに、原案の表現としたいと考えます。</p>
1 5	芳賀	政策の指標「居心地がいい場所と時間」とあるが、指標を測る際に、1 つの設問に「場所」と「時間」という 2 つの項目を聞くことになるがどうか。	<p><del>この政策では、場所と時間の両方が満たせることが重要だと考えるので、指標を「居心地がいいと感じる時間を過ごせる場所が町田市にあると思う人の割合」に変更します。</del></p> <p>政策名が「自分らしい場所・時間を持てるまちになる」としており、場所と時間の両方、又はいずれかに限定するものではないことから、政策の成果を</p>

			を測る指標として原案の表現としたいと考えます。
--	--	--	-------------------------

■政策4

番号	委員	意見	対応の方向
16	深澤	3つのトップスポーツチームがそろっている自治体は他にない。「みる」というところで、このことをもっと推していった方がいいのではないか。	施策4-2の取り組み4の概要の冒頭「スポーツの魅力を活用して」を「トップスポーツチームを擁する町田市ならではの魅力を活用して」に修正します。
17	安達	スポーツに関していうと、音の問題でダメになっていることが多い。それを踏まえたものになっているか。	スポーツ施策を進めるには、建物施設などを地元と調整していくのが基本です。実際の事業を進めていくにあたっては、音の問題も含めて、地域と連携を図っていきます。

■政策5

番号	委員	意見	対応の方向
18	芳賀	政策の指標「健康寿命」は非常にいい指標だと思うが、これだけだと、政策名にある「人生の豊かさ」を実感できているかわからない。例えば「生きがいを持って暮らしている人の割合」などがあると、それが測れるのではないか。	指標に「生きがいを持って暮らしている人の割合」を追加します。
19	芳賀	施策5-1の指標「主観的健康観（一般高齢者）」とあるが、一般高齢者に限定せず、要介護、要支援なども含めて測ってもいいのではないか。	<del>指標としてとっているのかを含めて確認し、どの指標が相応しいかを所管課と調整します。</del> 要介護者を含めた調査としては実施しておらず、一般高齢者以外の数値の算出は困難なため、このままとさせていただきます。
20	深澤	施策5-1の取り組み1には「高齢者が働く」という部分が弱いと感じる。高齢者が長年培った経験を生かせる場づくりや働ける高齢者が社会で頑張れる仕組みづくりのような表現を入れられるといい。	<del>所管課と調整します。</del> 概要に「就労を含めた社会参加を推進します」を追記します。

2 1	三輪	ヒートショックの話など、高齢者の健康な住まいの話など、住宅政策と絡んだ話題が入るとすると、この政策のところか。	政策5や政策8に紐づく実行計画の中で検討していきます。
-----	----	---	-----------------------------

■政策6

意見なし

■政策7

意見なし

■政策8

番号	委員	意見	対応の方向
2 2	深澤	政策の指標を「薦めたい場所」とあるが、その場所だけ、そこで何が行われるのかが大事では例としては場所（こと、もの）などあるといいのではないか。	指標を「市外の人に薦めたい場所やモノ・コトが思い浮かぶ市民の割合」に修正します。
2 3	深澤	概要拠点駅周辺と中心市街地、二つは違うのでどこかで言葉を切ってもらって表現してほしい。	施策8-2の取り組み3の概要部分の文章を「拠点駅周辺で、楽しい時間を過ごすことができ、新しいことが生まれ、人々の出会いや活動のつながりが広がり続けるようなまちづくりを進めます。特に、中心市街地においては、道路空間をはじめとする公共空間の活用や、歩行空間の安全性向上を図るとともに、まちの資源の魅力を高めていきます。」に修正します。
2 4	三輪	施策 8-2 の指標「住み替えした世帯数」が何を意図しているのかわかりにくい。下に紐づく 3 つの取り組みと齟齬がないようにしてほしい。	<del>所管課と調整します。</del> 「多様な暮らし方や働き方を支える空間づくり」の大きな要素として、ライフスタイルの変化に合わせて多様な選択肢からそれぞれに合った住宅（住空間）を選んで住み替えていける環境を作っていく必要があると考えており、それを測る指標として設定しています。

■政策 9

番号	委員	意見	対応の方向
25	三輪	自殺率のことなど、心の健康の話がどこに入ってくるのか検討いただきたい。	政策 9 では災害の対策（感染症対策を含む）が目立ちますが、平時での取組も含んでいます。ご指摘の部分は、9-3 の取組 3 に位置づけられます。

■全般

番号	委員	意見	対応の方向
26	清原	これまで行われている取り組みを更によくすることと、この計画で新しくしていることがごちゃまぜになっている。最後の段階で言葉の整理をした方がいいのでは。今までやっているのか、これからやっていくのか整理した方が長期計画の位置づけとして明確になる。	策定までに文章を整理していきます。

2 （仮称）経営基本方針について

■基本方針 1

番号	委員	意見	対応の方向
26	芳賀	改革項目 1-4 の指標がないのが気になる。	「自治体間で連携して取り組んだ事業の数」を <b>基本方針 1 改革項目 1-4</b> の指標候補として検討していきます。

■基本方針 2

意見なし

■基本方針 3

番号	委員	意見	対応の方向
27	芳賀	改革項目 1-4 と同様に 3-2 の指標がないのは気になる。民間との連携によって維持管理している公共施設の数や他の自治体と連携して進めている事業の数など、指標を検討していただきたい。	「公共施設が新たな価値・サービスを生み出す豊かな場であると答えた市民の割合」を <b>基本方針 3 改革項目 3-2</b> の指標候補として検討していきます。

28	三輪	公共空間というものも改革項目 3-2 に入るかと思う。公園の PFI など、幅広く検討できると思うので、事業実態を反映できるような指標を選んでもらいたい。	同上
----	----	---	----